平成 20 年 9 月 26 日

雷とアースとの関連について

日頃より弊社のエルマクリーンをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。
先日より、弊社製品についてある企業により悪質な妨害が行われている旨ご報告申し上げておりますが、今度はエルマクリーンについて誹謗中傷する営業活動が行われているとのご報告を、ある販売会社様よりいただきました。
その内容は以下のとおりです。

1. エルマクリーンには PSE マークがなく、危険性が高く、信頼性に欠ける商品である。
2. エルマクリーンは地中に電場を逃がすのではなく、電柱に電場を逃がすので、雷が電柱に落ちた場合、電流がエルマクリーンに伝わり火災もしくは感電の恐れがある。

過去において、一般のユーザー様より上記内容について、類似したお問合せを頂戴することはありましたが、もし家電製品を供給する側がこのような見解を本当に持っているのだとしたら、供給する側としての常識を疑わざるを得ません。
改めて皆様にご説明させていただく良い機会と考え、以下にご案内申し上げます。

まず 1. については非常に単純な話になりますが、エルマクリーンは PSE マークの対象外製品です。経済産業省並びに電気安全協会に確認をし、いずれも「電気用品に該当する機能がなく、非対象になる」という判定をいただいていることです。コンセントを使うもの全てが PSE マークの対象になるわけではないことを知らないはずは無いのですが。誘導等や点滅器、漏電遮断器など、コンセントを使うもので電気安全法の対象外となっているものはたくさんあります。パソコンにも PSE マークはありません。

2. については、ちょうど先日（9 月 14 日）の朝日新聞朝刊に落雷に関する記事がありましたのでご紹介します。
「雷で IT 家電被害急増」というタイトルで、誘導雷という聞きなれない言葉で説明されています。
それによると、雷による過電圧・過電流（雷サージ）により家電製品や通信機器が故障してしまう被害は、雷が建物に直接落ちる『直撃雷』ではなく、雷の周囲に発生した強力な電磁界の変化によって発生した高電圧・項電流が電線や通信ケーブル、アンテナ、アースを通して侵入する『誘導雷』によるものが急増しているそうです。

その理由として、「パソコンとインターネット利用が普及し、各戸に通信線が引かれネットワーク化されたこと」、「電話や洗濯機、冷蔵庫などにも異常電圧に弱い集積回路（IC）で制御される精密な製品が増えたこと」が挙げられると専門家が分析しています。

対策としては今のところ、雷が鳴ったら電源を抜く、もしくは外出時の対策や不便さを考えて雷サージ保護装置をつけるという方法しかありません。保護装置についてですが雷の種類は様々ですから、雷サージの侵入口は特定できませんので、電源、通信線それぞれに対策が必要となります。

そもそも住宅は、基礎から分電盤を経由して必ずアースされており、そのアース線は水周り（洗濯機、トイレ、エアコンなど）や、最近の住宅では各部屋のコンセントに繋がっています。この背景には、内線規定によるアース付コンセントの設置が、水周りでは「推奨」から「勧告」へ、各部屋では「推奨」とされたことがあります。実際、パソコンなど多くの家電製品の取扱説明書には、アースをしてください、と記載されています。アースにより落雷の危険性が高まるのであれば、このような表記はされないはずです。

「アース＝接地」という言葉からもわかるように、アースは「地中に」電場を逃がします。一般のアースと言うのは直接アース線により、地中へ逃がす場合と分電盤→電線→地中と経由する方法があります。結果的にエルマクリーンを使っても使わなくても理屈は同じです。ですから、エルマクリーンを使うことによって、雷による火災の可能性や感電の危険性が高くなったりすることはありません。
そもそも、電柱に雷が落ちた場合と言っていますが、電柱に雷が落ちたら電柱そのものはショートを起し、電気の供給は止まるわけです。タラレバの話であれば、家電製品そのものの危険性なんて、挙げたらキリが無いと思います。

過去に、ご自宅付近に雷が落ちてしまったというお客様から、エルマクリーンの修理依頼のご連絡がありました。エルマクリーンは壊れたものの、エルマクリーンを接続したパソコンは無事だったそうです。また、冷蔵庫やラジカセなどエルマクリーンを繋いでいない機器で壊れてしまったものがあったと仰っていました。

アースの本来の目的は感電防止、通信障害の抑制、静電気防止、電位の均等化などです。電場が抑制されることは結果でしかありませんでしたが、本来の目的に加え有効な結果が伴うことを皆さんにもっと知っていただき、アースが普及することにより健康被害を抑制するのがエルマクリーンの役目です。

自社の製品に自信と誇りがあるならば、販売店、それも電磁波に精通した担当者がいないと判断した販売店を選んで、他社製品を「火事になる」などと中傷する必要など無いと思いますし、その証拠となる書類を残さないよう口頭で吹聴して回る手口も卑怯で悪質だと思います。その販売店を信頼して商品を選ぶお客様のことまで考えられる企業だったら、こんな売り方ができるのでしょうか？

社会性とそれに対する誇りを持って作ってきた大切な製品に対し、稚拙な発想から根拠の無い中傷をされるのは本当に許しがたいことです。このような低レベルな発想により、何も知らない消費者の方が犠牲になりかねないということが最も許しがたいことです。
実際に自分たちで開発して製造しているわけではありませんから、自社の製品に誇りを持って正々堂々と売

ることはできないのでしょうが。

弊社は今後もこのようなことに屈することなく、積極的に「アースの必要性」を説いていく所存ですので、エルマクリーンをご愛用いただいている皆様ならびにアースの必要性をご理解いただき仲間としてご販売いただいている皆様におかれましては、引き続きご支援の程宜しくお願い申し上げます。

株式会社レジナ

代表取締役　土田直樹

土田直樹